

2026年8月31日

リコーリース株式会社

<コード番号：8566 東証プライム市場>

マテリアリティおよび

サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークの改定について

リコーリース株式会社（以下、当社）は、このたび、当社グループの重要な経営課題として特定しているマテリアリティを改定しました。併せて、2022年12月に策定した「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下、本フレームワーク）を改定し、新たな重要業績評価指標（KPI）およびサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）を設定しましたので、お知らせします。

当社グループは、新中長期ビジョン「リースの可能性を広げ、中小企業を支える基盤へ」および「26-28 中期経営計画」を踏まえ、事業を通じて取り組むべき社会課題と、持続的な企業価値向上に向けた重要となる経営課題をあらためて整理しました。

今回の改定では、社会課題やステークホルダーからの要請、当社グループの事業特性、財務・非財務の両面における重要性を踏まえ、マテリアリティを中長期ビジョンおよび中期経営計画とより一体的に推進できる内容へと見直しました。特に、「中小企業の挑戦と価値創造の支援」と「持続的成長を実現する人財の輩出」を重点領域として位置付け、当社グループの事業活動を通じて、持続可能な地球環境、経済の循環、健康で豊かな地域社会の実現を目指します。

マテリアリティの特定にあたっては、社会課題のロングリストを作成し、当社グループの事業活動との関連性やリスク・機会、外部環境の変化を整理しました。さらに、有識者ダイアログを通じて外部の視点を取り入れ、社内での議論を重ねることで、当社グループが優先的に取り組むべき重要課題として取りまとめました。今後は、改定したマテリアリティを経営戦略、事業活動および非財務目標と連動させ、実効性のある取り組みとして推進していきます。

また、マテリアリティの改定にあわせ、本フレームワークについても改定を行いました。本フレームワークは、当社グループのサステナビリティ戦略に基づき、KPI および SPT を設定し、その達成状況を資金調達条件と連動させることで、サステナビリティ経営の推進を図るものです。

今回の改定により、新たなマテリアリティと整合した KPI・SPT を設定し、当社グループの中長期的な価

価値創造と社会課題の解決に向けた取り組みを、より明確に資金調達の仕組みに反映しました。当社グループは、今後も、本フレームワークを活用したサステナブルファイナンスの取り組みを通じて、ステークホルダーの皆さまとの対話を深めながら、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

■改定後のマテリアリティ



※HP サステナビリティ・リンク・ファイナンスの URL

https://www.r-lease.co.jp/assets/docs/sustainability_link_finance_framework.pdf

※HP 第三者機関評価書の URL

https://www.r-lease.co.jp/assets/docs/second_opinion.pdf

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL : 050-1702-4203（直通） Email : ir@r-lease.co.jp